
電話

凧竜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

電話

【Nコード】

N0969F

【作者名】

風竜

【あらすじ】

澄子は息子の誕生日に夫が帰ってこれない現状を嘆いていた

（前書き）

正直、後で読み返すとつまらないなあ。

ブルルルル

「あ、俺だけどさ、今日もサービス残業で遅くなるから先に食べといて」

「あなた！

今日は哲生の誕生日なのよ！

子供の誕生日の日くらい残業くらい断りなさいよ！」

「ごめん！澄子」

「あなた最近仕事ばかりで帰って来るのも何時も0時過ぎじゃない！

家庭を何だと思ってるのよ！」

「ホントにゴメン。

でも工場長が定時で帰ったからその分の仕事まで済ませないといけないんだ！

取引先からの無茶な発注もまだ

」

「もうあなたなんて知らない！

そんなに言い訳してまで仕事したいなら私と子供を捨てて仕事と結婚しなさいよ！

私もう知らないから！」

ガチャン！

ツ―・ツ―・ツ―

「バカ、

この前の結婚記念日にも約束してくれた癖に仕事だったじゃない…

…」

澄子は辛い言葉を放ったまま電話を切った事を後悔していた

今日こそは早く帰ってきてくれると信じ、夫が昔に買ってくれた高額なワンピースまでダンスから出した

最近はやらない化粧も念入りにやった

苦手な料理も結婚する前の夫に教わったことを楽しくも懐かしい思い出しながら無茶してご飯を作った

ケーキもレシピを見ながら形は悪いながらもおいしいものが焼けた

全て夫と子供を喜ばせる為だった

澄子は自分の努力が徒労に終わった事よりも、久しぶりに家族揃って我が子の誕生日が祝えない事を嘆き、うなだれた

「おかあさん。どうしたの？」

いつの間にか近くに寄っていた哲生を抱き締め澄子は涙を流した

ジリリリリリリ
カシャン

「あ、はい。

もしもし、キムちゃん

え、何？

少し金と食糧の援助をくれって？

あ、ゴメンそれちょっと無……

え、援助やないとテポドン落とすって？

やだなあ、冗談だよ

え、何？

今度はアメリカに口添えしてテロ指定を解除させる？

いやあ、それは流石に無………解った！解った！

だからテポドンだけは勘弁してよキムちゃん

ホラ、昔からの仲だろ？

いって、いってマジ気にすんなって！

困った事があれば何でも言ってよキムちゃん

んじゃ会議あるからそろそろ切るね。」

ガチャン！

「キムちゃん……」

今度援助したらもう脅さないって約束してくれたのに、、」

首相はあんな約束をしたことを後悔していた

北○鮮が世界平和に共感してくれると信じ、持病の痔が悪化する思いで十億円の援助金を送った

最近はやらない根回しも念入りに行った

苦手な接待も前の首相が行った事を参考に、プライドをかみ殺しつつ行った

会談も相手を起こらせないよう、慎重に言葉を選んだ

全て世界平和の為だった

首相は自分の苦勞が徒勞に終わった事よりも、ストレスで久しぶりに血便が出たことを嘆き、うなだれた

「首相。どうしたのですか」

いつの間にか部屋に入ってきた秘書とは目を合わせずに自分の尻を抑え、首相は涙を流した

〔完〕

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0969f/>

電話

2010年12月26日05時35分発行